



地域日本語支援ニュース こだま 第 367 号

2019.9.26



★—メールマガジンをお読みいただき、ありがとうございます—★

【地域日本語支援ニュース こだま】は、日本語教育に関する事業を全国で行っている公益社団法人国際日本語普及協会(AJALT)発行のメールマガジンです。各地域で在住外国人に対する日本語・生活支援に携わっている方々に役立つ情報の共有を目指していきます。

====目次=====

1■ともに生きる：広島県から■

「留学生とともに西日本豪雨災害を経験して」

日本ウェルネススポーツ専門学校 広島校 校長 土屋 理恵

2■高校進学進路ガイダンス情報（9、10 月）■

=====

1■ともに生きる：広島県から■

日本各地で豪雨の被害を受け、現在も困難の中にいる方々に心より
お見舞いを申し上げます。

今号では、昨年度の西日本豪雨の被災について、日本ウェルネス
スポーツ専門学校広島校校長の土屋理恵氏にご寄稿をいただきました。
外国人留学生も地域社会の一員として日本人とともに災害を乗り越
えていった様子を勇気づけられます。

.....

留学生とともに西日本豪雨災害を経験して

日本ウェルネススポーツ専門学校 広島校
校長 土屋 理恵

本校は 100 名ほどの留学生を抱える学校です。2018 年 7 月の西日本豪雨で
は、学校周辺が冠水し留学生の中にも床上浸水や孤立の被害に遭った人が出ま
した。豪雨災害を通して感じたことや得られたことをご報告します。

◆線状降水帯の猛威

つい先月も九州北部をはじめ日本各地で豪雨の被害が報告されました。被害を引き起こしたのは線状降水帯と呼ばれる帯状に発達した雨雲で、昨年の西日本豪雨も線状降水帯によるものでした。猛烈な勢いで降り続く雨に人間は無力です。台風でなくとも甚大な被害が起こり得るということを、日本人も外国人も認識し心構えや備えをしておくことが求められています。

◆自分の身を自分で守れるように

西日本豪雨で広島に被害が起きたのは日が暮れた後のことです。私は留学生たちから届く写真や動画によって学校周辺が冠水していることを知りました。それから朝方まで留学生たちに状況確認の連絡をとり続けましたが、刻一刻と状況が変化する中、現場にいない自分の助言が正しいとは限らないという不安が常につきまといました。また、その時は偶然自分が連絡できる状況にありましたが、次回もそうであるとは限りません。留学生もそれぞれ自分で判断できるだけの基礎知識、防災意識、情報収集能力が必要だと痛感しました。

◆地域を助ける留学生

水が引くと道路にも家屋にも大量の土砂やがれきが堆積していました。「自分の国でこんなことが起きたら同じことをします」「みんな大変だと思うので」と留学生たちも快くかけつけてくれ、学校として4日間地域の復旧作業にあたりました。1日平均30人、在籍留学生の7割が最低1回は手伝いに来てくれたことになります。水を含んだ土砂は想像以上に重く、真夏の暑さも加わり過酷な作業でしたが、道路だけでなく民家の床下の土砂の掻き出しにも励みました。お年寄りも多く自宅が被害に遭い途方に暮れる地域住民にとって、留学生の若い力は大きな助けとなったようです。学生寮のゴミの出し方や騒音をめぐって地域から苦情を頂くことも多かったのですが、「一人ひとりはいいい子じゃね」「気持ちよく手伝ってくれて本当助かつとるよ」等のお言葉をたくさん頂きました。これまで“外国人”というかたまりで見られていた留学生が初めて個人として見てもらう機会にもなったようです。

◆留学生に対する防災教育

本校では留学生を対象に、豪雨災害直後から防災学習を続けています。豪雨災害の経験共有、情報獲得手段の確認、災害時の日本語、災害別注意事項と日頃の備え、自宅周辺のハザードマップの確認と避難所のチェックなどを通して、

災害時に自分の身を守るためにどうすべきかを判断し行動できるようになることを目指しています。

◆外国人が身近にいる社会

これまでは留学生を地域とつなぐことは、留学生にとって住みやすく学びやすい環境をつくるためだと思って取り組んできました。ですが西日本豪雨災害を通して、留学生が地域を助ける存在になれることを実感しました。高齢化や過疎の進んだ地域では尚更です。新たな在留資格※も加わり、今後日本はますます外国人の増加が見込まれます。文化の違いから戸惑うこともあります、
“外国人”と一括りにせず一人ひとりを見ること、一市民として私も心がけたいと思っています。それが、日本人にとっても外国人にとっても生活しやすい日本をつくることにつながると思うので。

※編集部注

新たな在留資格：少子高齢化を背景に、外国人人材の受け入れを目指して「特定技能」を新設した改正出入国管理法は、2019年4月に施行されました。次の2種類が設けられています。

- ・特定技能1号：不足する人材の確保を図るべき産業上の分野に属する相当程度の知識又は経験を要する技能を要する業務に従事する外国人向けの在留資格（建設・介護・農業・漁業・飲食料品製造業・外食業等14分野）
 - ・特定技能2号：同分野に属する熟練した技能を要する業務に従事する外国人向けの在留資格（建設業、造船・船用工業）
-